

(事例シート2)

- 1 担 任：宇都宮さん（相談支援員）、今日は来てもらってありがとうございます。
こちらがお電話で少しお話をした山田さんです。
- 2 支援員：はじめまして。自立相談支援センターの宇都宮です。
- 3 相談者：よろしく申し上げます。山田です。今日はわざわざ来てもらってすみません。
- 4 支援員：いえいえ、とんでもありません。どうぞよろしく申し上げます。
- 5 担 任：それで早速なんですけれども、山田さんの娘さんが、最近、学校を欠席したり、出てきても授業中居眠りをしたりということがあって。お話を伺ったら、ご家庭がいろいろ大変ということで。一番はお父さんが働いていらっしゃらないということなんですけれども。それを何とかしなきゃということですね。
- 6 相談者：そうなんです。夫が働いてなくて、生活がきびしくて。
- 7 支援員：そうですね。大変な状況でいらっしゃるんですね。私たちも一緒に考えていきたいと思いますので、お話をきかせてください。
- 8 相談者：ありがとうございます。
- 9 担 任：ご一緒する予定だったのですが、緊急の会議が入ってしまいまして。申し訳ないのですが、あとはお願いします。
- 10 支援員：それでは後日また報告させていただきます。

(担任退室)

- 11 支援員：では、山田さん、よろしく申し上げます。
- 12 相談者：はい。
- 13 支援員：お父さんが働いていないということなんですけれども、もうちょっと詳しく聞かせてもらえますか。
- 14 相談者：はい、今夫が働いていなくて、私がパートを3つ掛け持ちしていて。それで忙しくて、家にあまりいないもんですから。娘がちょっと荒れ気味というか…。学校にも迷惑をおかけしてしまって、それでなんというか、呼び出されてしまってですね…。何とかしたいとは思っているんですけど、私も忙しくて、なかなか娘と顔を合わせる時間がなくて。
- 15 支援員：なるほど、そうですね。えーと、お父さんはいつから働いて

- いないんですか。
- 16 相談者：1年ぐらい前からです。それまで夫は飲食店をやってたんですけど、それがつぶれてしまって。
- 17 支援員：なるほど、飲食店ってどんな？
- 18 相談者：ラーメン屋です。
- 19 支援員：つぶれたっていうのは経営がきびしくなって？
- 20 相談者：そうですねえ。2年ぐらい前に、うちの斜め前のレストランが廃業しまして。で、そのあと、その空いたところにチェーンのラーメン屋さんが入ってきちゃったんですね。そちらは安いもんですから、けっこうお客さんをとられてしまって…。
- 21 支援員：なるほど、それで経営が悪化したということなんですね。
- 22 相談者：うん、そうです…。
- 23 支援員：その後、お父さんは就職活動をしたりとか、そういったご様子には？
- 24 相談者：うーん、店がつぶれて、その店をたたんですぐのころは、ハローワークに行ってみたみたいです。ただ、何度かいったようなんですけど、そのまま行かなくなってしまって。
- 25 支援員：お父さんは、就職のこと何か話していましたか。
- 26 相談者：うーん、何も。ただ帰ってくると、落ち込んでいるようには思いましたね。夫はずっとラーメン屋できて、他の仕事って言われても難しいと思うんですよね。
- 27 支援員：ラーメン屋以外のお仕事をされたことはないんですか。
- 28 相談者：はい。ももとは夫の両親がやってたお店で、それを手伝ってたんですね。両親が高齢ということで、それで夫のほうがあのお店を継いだんですけれども。
- 29 支援員：なるほど。他にアルバイトでも何か仕事をしたりとかというのはないですか。
- 30 相談者：うーん、友人の店をたまに手伝いに行ってるみたいです。
- 31 支援員：そちらに雇ってもらおうという話にはならないんですか。
- 32 相談者：うーん、聞いたことないですねえ。同じ商店街のお店なんですけど、個人店は今どこもきびしいんで。一人雇う余裕があるかなあ。難しいんじゃないでしょうかね。
- 33 支援員：そうですね。でもお母さんも仕事だけじゃなくて、家事や育児もあって大変だし、お父さんに働いてもらわないと困りますよね。
- 34 相談者：そうなんですよねえ。どうしたもんか、私もちょっとつらくて。
- 35 支援員：私たちもぜひ、お父さんにお会いし、仕事のことを聞いてみて、説得してみますよ。これまでラーメン屋をやっていた実績を活かして働けるとこ

ろを探してみたり、場合によっては違う分野に職業訓練を受けて転職する方法もありますから、何とか考えていきましょう。

- 36 相談者：ありがとうございます。娘もまだまだお金がかかりますので、心配です。
- 37 支援員：そうですね。お父さんが働くようになれば家計も楽になりますよね。ところでお父さんはラーメン屋をやっていたころ、どんな様子だったんですか。
- 38 相談者：そうですねえ、常連さんにかわいがられてましたね。両親の代からのお客さんも多くて、子どもころから夫のことを知っている人が多かったんです。正直ちょっと頼りない二代目でしたけれども、応援してやろうという年配の方が多くいらしてました。なんて言うか、成績はあんまりよくないタイプですけど、人懐っこいところがあって、明るい性格なので、ずっとかわいがられてましたねえ。
- 39 支援員：なるほど、そうですね。お父さんの長所ですね。
- 40 相談者：そうですねえ。こうなる前は娘も明るくて、家の中が賑やかだったんですよ。なんでこうなっちゃったかなあって。なんかもう、夫はあまり家にいないし、家族とも顔を合わせようとしなくて、最近はパチンコばかりなんです。私も家にいないんで、夫が何を考えているのかわからないんです。
- 41 支援員：そうですね。それじゃあ、お父さんとは最近はあまりお話とかはされてないんですか。
- 42 相談者：うーん、そうですねえ。
- 43 支援員：仕事のこととか、就職活動のこともまったく？
- 44 相談者：うーん、私が帰るといえないか、寝てるかのどっちかなんで。聞いてないですね、何も。

(後略)

【第3日目】

【後期】相談【講義と演習⑦】セッション2

(ワークシート2)

1. ここまでの面接過程をどのように評価しますか？

2. このあと、どのように支援を進めますか？

(事例シート3)

現時点で把握された状況についての要約
(面接と数回の訪問、関係者から収集した情報から)

1. 聞き取ったこと

(1) 夫の達夫さん(47歳)について

- 1年前まで飲食店を経営していたが、経済不況のあおりを受けて廃業に追い込まれた。現在は、気が向いたときだけ友人の飲食店を手伝っており、ほぼ毎日パチンコに通っている。
- 妻からは、パチンコばかりに通い、やる気のない態度を改めるよう注意されているが、妻の忠告を聞く気には一向になれず、家では口論が絶えない。
- ラーメン屋を廃業したことに傷ついて心を閉ざしてしまい、支援員に会おうとしない。妻によれば、本当は働きたい気持ちをもっているが、自信を失って今は就職活動をすることも考えられずにいるのではないかと思われる。
- ラーメン屋の資金繰りのためにカードローンや消費者金融から借入をしており、妻が請求書等で確認した範囲では、負債は約300万円にのぼっている。支払いが滞り気味で、催告の通知や取り立てが来ている。

(2) 妻の恵子さん(45歳)について

- 1年前までは専業主婦だったが、夫が仕事を失って以来、家計を支える役割を担うために、パートを掛け持ちするようになった。現在、パン屋での販売(9時~17時・月収13万円・社会保険なし)、喫茶店の手伝い(月収5万円)、スナックの手伝い(月収3~4万円)の3つの仕事をしている。できれば1か所で安定した仕事に就き、子どものために残業せずに帰宅したいと考えている。
- 収入は少なく、生活はいつも苦しい状況にある。健康保険料や水光熱費、学校の給食費等の滞納があるが、全体を把握できていない。携帯電話も時々支払いが滞って不通になることがある。
- 以前は、ふさぎ込む夫の姿を見て不憫に思い、夫が立ち直るまで自分が頑張ろうと思っていたが、今は、いつまでも変わろうとしない夫の姿にいらだちを感じるようになった。
- 長女のことを心配しているが、長女が反発してきちんと話ができないことに心を痛めている。
- 今の状況を何とかしたいが、仕事に追われ時間が取れず、疲れが高じてイライラして夫や長女にあたることも多い。
- 学校と自立相談支援機関に協力してほしいと思っている。

(3) 長女の里美さん（14歳・中学2年生）

- もともとは明るい性格で友だちも多かったが、中学1年生の時に父親の店が倒産したことを同級生にからかわれてからは、学校に行っても一人で過ごすことが多くなった。母親には、「友だちにからかわれたことは気にしていない。でも、無精ひげを生やしてイライラしているお父さんをみると、仕事が大変なのにお店の休みの日には必ず遊んでくれたお父さんがそんなふうになってしまうなんてつらくて、お父さんにどう接したらよいかわからない」と話している。
- 母親は長女について、小さい頃から勉強が好きで、言われなくても宿題をやっていたことを覚えている。家で落ち着いて勉強できず、だんだん授業にもついていけなくなってやる気も失ったのではないかと思っている。また、両親の口論が絶えなくて家の雰囲気が悪く、家にいたくないのではないかと察している。
- 不良グループに誘われて夜に外出し、朝まで帰って来ないこともある。生活リズムが乱れて学校も遅刻や欠席が多い。
- 母親には、「授業についていけない」「友だちがいない」「学校に行きたくない」と話している。

2. 相談支援員が観察したこと、感じたこと

- 母親はかなり疲れている印象を受ける。面接のなかで遠くを見たり涙ぐんだりする様子があり、相談支援員が話しかけると我に返って返答する場面もあった。夫や長女の状況を心配してはいても現実の生活に追われて、課題解決に動く余裕がないのではないか。
- 長女は父親の様子に心を痛めている。休日には必ず長女と遊んでいたというエピソードから、父親は長女をとてまかわいがっていた様子うかがわれ、以前の家族関係は良好だったと考えられる。
- 訪問した際、夫が拒んだので妻や長女と玄関で話をするにとどまった。玄関は靴が散乱し、入り口に古新聞やチラシが積み上げられていたり、郵便がそのままにされていたりと雑然としていて、家事がおろそかになっている様子うかがえた。

3. 学校から収集した情報

- 里美さんは入学した当初は、いつも一人で教室に座っている大人しい印象の生徒だった。学習の遅れはあったが、教師が個別に質問したりすると懸命に考えて答えようとす姿勢が見られた。眠そうにして机に突っ伏していたりする様子は1～2か月くらい前から見られる。
- 母親は学校から連絡すると必ず返事してくれる。給食費用や修学旅行の積立の支払いは時々遅れることがある。父親は学校行事に参加したことはない。

インタビュー・アセスメントシート（個人ワーク用）

ID		氏名	山田 恵子	最終更新日	平成25年5月××日
----	--	----	-------	-------	------------

サブ区分 フラグ		関連ID		備考	
-------------	--	------	--	----	--

■相談経路・相談歴

※当初 相談経路	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 自立相談支援機関がアウトリーチして勧めた	
	■ 関係機関・関係者からの紹介(関係機関・関係者名: <u>A 中学 担任教諭〇〇先生</u>)	
	<input type="checkbox"/> その他()	
これまでの相談歴の有無(本人や家族に過去にどこかの機関への相談経験があるかを確認)		
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		
相談歴の概況／相談経緯(誰が、どこに、どのような相談をしたか、その結果がどうであったかを記載)		
<p>長女の学校での様子を心配した担任が母と面談して家庭の状況を聞き取り。 担任が母に自立相談支援センターへの相談を促し、つながる。</p>		

■本人の主訴・状況

本人の 訴えや 状況 (生活歴 を含む)	
----------------------------------	--

■本人の主訴・状況(続き)

(1) 家族・地域関係・住まい

※同居者	■有(自分を含んで__3__人) □無	別居の家族	□有() □無
※婚姻	□未婚 ■既婚 □離別 □死別 □その他()	※子ども	□無 ■有(__1__人 →扶養 ■有 □無)
家族の状況 (子どものことを含む)			
住居	■持家 □借家 □賃貸アパート・マンション □公営住宅 □会社の寮・借り上げ住宅 □野宿 □その他()	地域との関係	実家を継いでそのまま居住しているので、近隣との付き合いは長い。
特記事項			

(2) 健康・障害

※健康状態	■良い □良くない/通院している □良くないが通院していない	通院先/ 服薬・診 断・症状等	
健康保険	■国民健康保険 □健康保険(国保以外) □加入していない	障害 手帳等	■無 □有→□身体(__級) □知的(療育)(__) □精神(__級) ----- 自立支援医療 □利用 □利用せず
特記事項			

(3) 収入・公的給付・債務等

家計の 収支 状況	世帯として 月々入ってくるお金 (月額 22~23万 円) 月々出ていくお金 (月額 円)	家計 状況	国保税等の滞納があるようだが、本人も全体を正確に把握できていない
課税 状況	□住民税非課税世帯である ■住民税非課税世帯ではない	滞納 債務	■滞納あり □滞納なし ■債務あり □債務なし
公的 給付 (受給中)	□雇用保険 □高齢年金・遺族年金 □障害者年金 □特別障害者手当 ■児童手当 □児童扶養手当 □特別児童扶養手当 □住居確保給付金 □その他()	生活 保護	
特記 事項			

(4)職業・職歴等

①概況

※就労状況	<input type="checkbox"/> 就労している <input checked="" type="checkbox"/> 就労しているが、転職先を探したい/探している <input type="checkbox"/> 今後、就労予定(就労先決定済み) <input type="checkbox"/> 仕事を探したい/探している(現在無職) <input type="checkbox"/> 仕事をしていない(仕事は探していない)	最終学歴等	<input type="checkbox"/> 中学(高校未入学) <input type="checkbox"/> 中学(高校中退) <input checked="" type="checkbox"/> 高校(大学中退を含む) <input type="checkbox"/> 特別支援学校(学級を含む) <input type="checkbox"/> 専門学校・専修学校・各種学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 大学・大学院 <input type="checkbox"/> その他 → <input type="checkbox"/> 現在、就学中
	※直近の離職後年数 <input type="checkbox"/> 6ヵ月未満 <input type="checkbox"/> 6ヵ月以上～1年未満 <input type="checkbox"/> 1年以上～2年未満 <input type="checkbox"/> 2年以上 <input type="checkbox"/> 仕事をしたことがない		資格・技術
希望職種等			

②現在の職業

職業	業務内容	雇用形態	
パン屋での販売	接客や品出し、レジ打ち等	パート	
勤務年数	※月収	賞与の有無・回数等	賞与(年間)
年 10ヵ月	13万円	なし	万円

③過去の職歴 ※現在に近い順に上から記載

勤務期間	雇用形態	月収	職業・業務内容
年 月～ 年 月		万円	
年 月～ 年 月		万円	
年 月～ 年 月		万円	

④職業・職歴等の特記事項

現在はパン屋の他に、喫茶店の手伝い(月5万円)、スナックの手伝い(月3～4万円)をしている。

(5)その他の特記事項

■緊急支援

※緊急支援の必要性	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(具体的な状況:)	
※緊急支援の内容	
□住居確保給付金	<申込日> 平成____年____月____日 給付期間 ____年____月～____年____月____ヵ月 給付額____円/月
	<申込日> 平成____年____月____日 支援期間 ____年____月____日～____年____月____日
□一時生活支援事業	
その他緊急支援の実施状況	

■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

課題と背景 要因	
※課題のまとめと支援の方向性 (300字以内で整理)	
※チェック項目	<input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> けが <input type="checkbox"/> 障害(手帳有) <input type="checkbox"/> 障害(疑い) <input type="checkbox"/> 自死企図 <input type="checkbox"/> その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など) <input type="checkbox"/> 住まい不安定 <input type="checkbox"/> ホームレス <input type="checkbox"/> 経済的困窮 <input type="checkbox"/> (多重・過重)債務 <input type="checkbox"/> 家計管理の課題 <input type="checkbox"/> 就職活動困難 <input type="checkbox"/> 就職定着困難 <input type="checkbox"/> 生活習慣の乱れ <input type="checkbox"/> 社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む) <input type="checkbox"/> 家族関係・家族の問題 <input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> 非行 <input type="checkbox"/> 中卒・高校中退 <input type="checkbox"/> ひとり親 <input type="checkbox"/> DV・虐待 <input type="checkbox"/> 外国籍 <input type="checkbox"/> 刑余者 <input type="checkbox"/> コミュニケーションが苦手 <input type="checkbox"/> 本人の能力の課題(識字・言語・理解等) <input type="checkbox"/> 被災 <input type="checkbox"/> その他()

■スクリーニング

※スクリーニング実施日	平成 25 年 5 月 × 日
※対応結果・方針	<input type="checkbox"/> 1. 情報提供や相談対応のみで終了 <input type="checkbox"/> 2. 他の制度や専門機関で対応が可能であり、つなぐ (必要に応じて、事前連絡や同行支援を実施し、結果をフォローアップする) (→つなぎ先の制度・専門機関:) <input type="checkbox"/> 3. 現時点では本人同意はとれていないが、引き続き同意に向けて取り組む <input checked="" type="checkbox"/> 4. 自立相談支援機関が継続支援し、プランを策定する <input type="checkbox"/> 5. スクリーニング判断前に中断・終了(連絡がとれない/転居等)
特記事項	

対応重要度	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
-------	---

【2】付随シート(紙での使用)

ID		氏名	山田 恵子
----	--	----	-------

■家族関係図

家族関係図(□=男性、○=女性)	支援経過における変化

■エコマップ(地域や周囲との関係性)

エコマップ	支援経過における変化

インタビュー・アセスメントシート

■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

<p>課題と背景 要因</p>	
<p>※課題のまとめと支援の方向性 (300字以内で整理)</p>	
<p>※チェック項目</p>	<p> <input type="checkbox"/>病気 <input type="checkbox"/>けが <input type="checkbox"/>障害(手帳有) <input type="checkbox"/>障害(疑い) <input type="checkbox"/>自死企図 <input type="checkbox"/>その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など) <input type="checkbox"/>住まい不安定 <input type="checkbox"/>ホームレス <input type="checkbox"/>経済的困窮 <input type="checkbox"/> (多重・過重)債務 <input type="checkbox"/>家計管理の課題 <input type="checkbox"/>就職活動困難 <input type="checkbox"/>就職定着困難 <input type="checkbox"/>生活習慣の乱れ <input type="checkbox"/>社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む) <input type="checkbox"/>家族関係・家族の問題 <input type="checkbox"/>不登校 <input type="checkbox"/>非行 <input type="checkbox"/>中卒・高校中退 <input type="checkbox"/>ひとり親 <input type="checkbox"/>DV・虐待 <input type="checkbox"/>外国籍 <input type="checkbox"/>刑余者 <input type="checkbox"/>コミュニケーションが苦手 <input type="checkbox"/>本人の能力の課題(識字・言語・理解等) <input type="checkbox"/>被災 <input type="checkbox"/>その他() </p>

インタビュー・アセスメントシート

ID		氏名		最終更新日	平成××年×月××日
----	--	----	--	-------	------------

サブ区分 フラグ		関連ID		備考	
-------------	--	------	--	----	--

■相談経路・相談歴

※当初 相談経路	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 自立相談支援機関がアウトリーチして勧めた	
	■ 関係機関・関係者からの紹介(関係機関・関係者名: <u>A 中学 担任教諭〇〇先生</u>)	
	<input type="checkbox"/> その他()	
これまでの相談歴の有無(本人や家族に過去にどこかの機関への相談経験があるかを確認)		
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		
相談歴の概況／相談経緯(誰が、どこに、どのような相談をしたか、その結果がどうであったかを記載)		
<p>長女が学校での様子を心配した担任教諭が母と面談して家庭の状況を聞き取り。担任教諭から母に自立相談支援センターへの相談を促し、つながる。</p>		

■本人の主訴・状況

本人の 訴えや 状況 (生活歴 を含む)	<p>夫と本人、長女(14歳)の三世帯。</p> <p>夫は両親の後を継いでラーメン店を経営していたが、2年ほど前から経営が悪化して1年前に廃業。ハローワークに数回通ったが就職活動が思うようにいかず、現在は気が向いたときだけ友人の店を手伝う程度で、ほぼ毎日パチンコに通っている。本人からそのことを咎められるが、目標を失ってしまって抜け殻のようになり、家では口論が絶えない。廃業前の資金繰りで消費者金融からの借入れが約300万円にのぼり、取り立てや催告の通知が来ている。</p> <p>本人は専業主婦だったが、夫が仕事を失って以来、パートを3つ掛け持ちして生計を支えている。夜まで働いても生活は苦しく、健康保険料や学校の給食費等の滞納があるが、全体を把握できていない。以前は夫が立ち直るまで何とか頑張ろうと考えていたが、いまは、いつまでも変わろうとしない夫の姿にいらだちを感じるようになった。</p> <p>長女は明るい性格で友だちも多かったが、中1のときに父親のラーメン店が倒産したことを同級生にからかわれてからは、学校に行っても一人で過ごすことが多くなった。家で両親の口論が絶えないこともあり、夜の外出が増え、不良グループに誘われて朝まで帰ってこないこともある。生活リズムが乱れて学校も遅刻や欠席が多い。本人はなんとか長女と話をしようとするが、長女が反発してきちんと話ができていない。</p> <p>いまの状況を何とかしたいが、仕事に追われて時間が取れず、疲れが高じてイライラして、夫や長女にあたることも多くなっている。</p> <p>学校や自立相談支援センターの協力を得て家族全体の問題を解決していきたい。</p>
----------------------------------	---

■本人の主訴・状況(続き)

(1) 家族・地域関係・住まい

※同居者	■有(自分を含んで__3__人) □無	別居の家族	□有() □無
※婚姻	□未婚 ■既婚 □離別 □死別 □その他()	※子ども	□無 ■有(__1__人 →扶養 ■有 □無)
家族の状況(子どものことを含む)	夫(47歳)。1年前にラーメン店を廃業してからは無職。ときどき友だちの店を手伝う程度で再就職に向けた意欲を失い、毎日、パチンコをするばかりで、夫婦の口論が絶えない。 長女(14歳・中2)。以前は明るく勉強好きだったが、最近、夜に誘われて外出し朝まで帰宅しない等生活リズムが崩れ、遅刻や欠席が目立つ。		
住居	■持家 □借家 □賃貸アパート・マンション □公営住宅 □会社の寮・借り上げ住宅 □野宿 □その他()	地域との関係	実家を継いでそのまま居住しているので、近隣との付き合いは長い。
特記事項	夫はもともと人懐こく明るい性格。廃業する前は家庭内の雰囲気は賑やかで、父親は休日には必ず長女と遊んでいた。長女は父の様子に心を痛めている様子もある。		

(2) 健康・障害

※健康状態	■良い □良くない/通院している □良くないが通院していない	通院先/服薬・診断・症状等	
健康保険	■国民健康保険 □健康保険(国保以外) □加入していない	障害手帳等	■無 □有→□身体(__)級 □知的(療育)(__) □精神(__)級 ----- 自立支援医療 □利用 □利用せず
特記事項	仕事で疲れがたまっている。		

(3) 収入・公的給付・債務等

家計の収支状況	世帯として 月々入ってくるお金 (月額 22~23万 円) 月々出ていくお金 (月額 円)	家計状況	国保税等の滞納があるようだが、本人も全体を正確に把握できていない
課税状況	□住民税非課税世帯である ■住民税非課税世帯ではない	滞納 債務	■滞納あり □滞納なし ■債務あり □債務なし
公的給付(受給中)	□雇用保険 □高齢年金・遺族年金 □障害者年金 □特別障害者手当 ■児童手当 □児童扶養手当 □特別児童扶養手当 □住居確保給付金 □その他()	生活保護	
特記事項	夫が廃業前に資金繰りで借入した債務が約300万円ある		

(4) 職業・職歴等

① 概況

※就労状況	<input type="checkbox"/> 就労している <input checked="" type="checkbox"/> 就労しているが、転職先を探したい/探している <input type="checkbox"/> 今後、就労予定(就労先決定済み) <input type="checkbox"/> 仕事を探したい/探している(現在無職) <input type="checkbox"/> 仕事をしていない(仕事は探していない)	最終学歴等	<input type="checkbox"/> 中学(高校未入学) <input type="checkbox"/> 中学(高校中退) <input checked="" type="checkbox"/> 高校(大学中退を含む) <input type="checkbox"/> 特別支援学校(学級を含む) <input type="checkbox"/> 専門学校・専修学校・各種学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 大学・大学院 <input type="checkbox"/> その他 ----- → <input type="checkbox"/> 現在、就学中
※直近の離職後年数	<input type="checkbox"/> 6ヵ月未満 <input type="checkbox"/> 6ヵ月以上～1年未満 <input type="checkbox"/> 1年以上～2年未満 <input type="checkbox"/> 2年以上 <input type="checkbox"/> 仕事をすることがない	資格・技術	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車免許 <input type="checkbox"/> その他資格・技術 ()
希望職種等	専業主婦が長かったため、自分に何が出来るかわからない。 一か所の職場で安定した仕事に就き、子どものために残業はしたくない。		

② 現在の職業

職業	業務内容	雇用形態
パン屋での販売	接客や品出し、レジ打ち等	パート
勤務年数	※月収	賞与の有無・回数等
年 10ヵ月	13万円	なし
		万円

③ 過去の職歴 ※現在に近い順に上から記載

勤務期間	雇用形態	月収	職業・業務内容
年 月～ 年 月		万円	
年 月～ 年 月		万円	
年 月～ 年 月		万円	

④ 職業・職歴等の特記事項

現在はパン屋の他に、喫茶店の手伝い（月 5 万円）、スナックの手伝い（月 3～4 万円）をしている。
--

(5) その他の特記事項

--

■ 緊急支援

※緊急支援の必要性	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(具体的な状況:)	
※緊急支援の内容	
<input type="checkbox"/> 住居確保給付金	<申込日> 平成_____年_____月_____日 給付期間 _____年_____月～_____年_____月_____ヵ月 給付額_____円/月
<input type="checkbox"/> 一時生活支援事業	<申込日> 平成_____年_____月_____日 支援期間 _____年_____月_____日 ~ _____年_____月_____日
その他緊急支援の実施状況	

■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

課題と背景 要因	<p>○本人 長く専業主婦の生活であったのが、現在はパートを3つ掛け持ちしており、精神的・体力的負担は相当であると考えられる。夫が立ち直るまではと気力を維持してきたのであろうが、いつまでも変わろうとしない夫の姿に苛立ちを感じるようになったと話す。夫婦の口論が絶えないことが長女にも影響を与えていることに気づいているが、長女と話す時間が十分に取れないことに心を痛めている。一つひとつの課題を整理して見通しを立てていくなかで、家族関係の立て直しを図っていく必要がある。</p> <p>○夫 廃業に追い込まれたことで目標を見失い、他の仕事の経験も無いことから就職活動に踏み出す自信も持てない状況が続いていると思われる。家計の再建には夫の収入確保が必須となるが、まずは自立相談支援センターが信頼関係を構築することが必要である。もともとは明るい性格で長女との関係も良好であった点等を念頭におきながら、意欲を取り戻すきっかけとなる手立てを探っていく。</p> <p>○長女 家庭環境の変化が学習環境や友人関係にも影響を与え、生活のリズムや学校生活の乱れにつながっている。学習支援等でサポートしつつ、家族関係の立て直しを図り、意欲が取り戻されることを期待したい。</p> <p>○世帯全体 債務を把握して支出を整理し、増収を図って家計を安定させていくことが求められる。</p>
※課題のまとめと支援の方向性 (300字以内で整理)	<p>①債務整理に着手して支出を整理していく。 ②本人について、一つの職場で安定的に働いていくために、転職の可能性を探る。 ③夫について、債務整理をきっかけに自立相談支援センターへの相談をはたらきかける。 ④長女について、学習支援の利用を提案して学習の遅れを取り戻すとともに、学校と連携しながら学校生活の立て直しを図る。</p>
※チェック項目	<p><input type="checkbox"/>病気 <input type="checkbox"/>けが <input type="checkbox"/>障害(手帳有) <input type="checkbox"/>障害(疑い) <input type="checkbox"/>自死企図 <input type="checkbox"/>その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など)</p> <p><input type="checkbox"/>住まい不安定 <input type="checkbox"/>ホームレス <input checked="" type="checkbox"/>経済的困窮 <input "="" checked="" type="checkbox"/>家計管理の課題 <input checked="" type="checkbox"/>就職活動困難 <input type="checkbox"/>就職定着困難 <input checked="" type="checkbox"/>生活習慣の乱れ</p> <p><input type="checkbox"/>社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む) <input checked="" type="checkbox"/>家族関係・家族の問題 <input type="checkbox"/>不登校 <input checked="" type="checkbox"/>非行 <input type="checkbox"/>中卒・高校中退 <input type="checkbox"/>ひとり親 <input type="checkbox"/>DV・虐待 <input type="checkbox"/>外国籍 <input type="checkbox"/>刑余者 <input type="checkbox"/>コミュニケーションが苦手 <input type="checkbox"/>本人の能力の課題(識字・言語・理解等) <input type="checkbox"/>被災 <input type="checkbox"/>その他()</p>

■スクリーニング

※スクリーニング実施日	平成 年 月 日
※対応結果・方針	<p><input type="checkbox"/>1. 情報提供や相談対応のみで終了 <input type="checkbox"/>2. 他の制度や専門機関で対応が可能であり、つなぐ (必要に応じて、事前連絡や同行支援を実施し、結果をフォローアップする) (→つなぎ先の制度・専門機関:) <input type="checkbox"/>3. 現時点では本人同意はとれていないが、引き続き同意に向けて取り組む <input checked="" type="checkbox"/>4. 自立相談支援機関が継続支援し、プランを策定する <input type="checkbox"/>5. スクリーニング判断前に中断・終了(連絡がとれない/転居等)</p>
特記事項	

対応重要度	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
-------	---

【2】付随シート(紙での使用)

ID		氏名	
----	--	----	--

■家族関係図

家族関係図(□=男性、○=女性)	支援経過における変化

■エコマップ(地域や周囲との関係性)

エコマップ	支援経過における変化

プラン兼事業等利用申込書

ID		プラン作成日	平成 25年 6月 1日
※作成回	<input checked="" type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再プラン()回目	プラン作成担当者	

ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性 <input checkbox"="" type="checkbox/>() </td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td></td> <td>生年月日</td> <td> <input type="/> 大正 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 ○○年 ○月 ○日 (45 歳)
------	--	----	--

■解決したい課題

債務整理に取り組む

パートの掛け持ちを辞めて一つの職場で安定して働いていきたい

夫にも就職活動に取り組んでもらいたい

長女が生活のリズムを取り戻し、落ち着いて通学できるようにしたい

■目標(目指す姿)※ <本人が設定>

長期目標	本プランにおける達成目標
一つの職場で安定して働き、残業せずに帰宅したい 明るい家庭を取り戻したい	債務や滞納を整理して家計を立て直す 夫が自立相談支援センターとつながる 長女が学習支援を受ける

■プラン※ <法に基づく事業等だけでなく、自立相談支援機関や関係機関等が行うことや、本人が行うことも含めて記入>

実施すること (本人・家族等・自立相談支援機関・その他関係機関)	備考(関係機関・期間・頻度など)	法に基づく 事業等 (該当時○)
債務整理に取り組む	本人と夫、弁護士(法テラスの活用)。初回は自立相談支援センターが同行	
一つの職場で無理なく働けるよう、転職の可能性を検討する	本人、ハローワーク (債務整理の推移を見ながらパートを減らし、転職活動を本格化させる)	
夫に自立相談支援センターに相談するよう、働きかける	本人、自立相談支援センター	
長女が学習支援事業を利用する	長女、学習支援機関(見学には自立相談支援センターが同行)	○

■法に基づく事業等※

メニュー		利用有無	支援方針(期間・実施機関・給付額等)
1	住居確保給付金	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支給期間 ____年__月__日～____年__月__日 給付額 ____円/月 <input type="checkbox"/> 申込中 <input type="checkbox"/> 既受給 <input type="checkbox"/> 申込予定 備考()
2	一時生活支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 <input type="checkbox"/> 申込中 <input type="checkbox"/> 既利用 <input type="checkbox"/> 申込予定 備考()
3	家計相談支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 備考()
4	就労準備支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 備考()
5	認定就労訓練事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 雇成型 <input type="checkbox"/> 非雇成型 支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 備考()
6	自立相談支援事業による就労支援	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

■その他関連する事業等※

メニュー	利用有無	支援方針(期間・実施機関・給付額等)
生活福祉資金等による貸付	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
生活保護受給者等就労自立促進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	当面は、転職について本人が自信をもつことを目標とし、債務整理の見通しを立てたうえで転職活動を本格化させる

■プランの期間と次回モニタリング(予定)時期

※プラン期間	平成 25 年 12 月 31日まで	次回モニタリング時期	平成 26 年 11月
--------	--------------------	------------	-------------

■プランに関する本人同意・申込署名欄

〇〇様
私は、 上記のプランに基づく支援について同意します。
法に基づく事業(上記3, 4, 5)の利用を申し込みます。
平成____年__月__日 本人署名_____ 印_____

<支援調整会議・支援決定>

※支援調整 会議開催日	①平成 ____年__月__日	※支援決 定・確認	<input type="checkbox"/> 支援決定(法に基づく事業(上記3,4,5))
	②平成 ____年__月__日		<input type="checkbox"/> 確認(法に基づく事業(上記3,4,5)以外)
	③平成 ____年__月__日		(決定・確認日:平成 ____年__月__日)

<備考>

<必要添付書類>

インテーク・アセスメントシート
 その他添付書類(法に基づく事業等の利用にあたって必要とする添付書類)

【5'】プラン兼事業等利用申込書追加確認項目

入力・集計支援ツールにおいて登録が必要な追加項目についてのお願い

- 事業の実施状況把握のため、帳票(プラン兼事業等利用申込書)としては記載の必要はないものの、「入力・集計支援ツール」で入力・登録いただきたい項目が2つ(SQ1,SQ2)あります。いずれも、実態把握のため必要な「月次報告」に反映される項目ですので、もれなく入力・登録をお願いいたします。
- SQ1 は、「当該プラン期間内において、一般就労を目指しているかどうか」を確認するものです。
 - SQ2 は、「このプランを実施するにあたり、関係・関与する人や機関」を選択肢のなかからすべてチェックしていただくものです。

【入力・集計支援ツールのみで登録が必要な項目】

(SQ1)一般就労達成の目標設定状況※ (いずれかにチェック)

プラン期間中の一般就労の達成を目標にしているか	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ
-------------------------	-----------------------------	---

(SQ2)プランの実施に係る関係機関・関係者※ (あてはまるものすべてにチェック)

<input type="checkbox"/> 福祉事務所(生活保護担当部署)	<input type="checkbox"/> 地域子育て支援センター・その他子育て支援機関
<input type="checkbox"/> 家庭児童相談室(福祉事務所)	<input type="checkbox"/> 男女共同参画センター・婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター
<input checked="" type="checkbox"/> 行政の子ども家庭担当部署	<input type="checkbox"/> 家計相談支援機関
<input type="checkbox"/> 行政の高齢担当部署	<input type="checkbox"/> 小口貸付
<input type="checkbox"/> 行政の障害担当部署	<input type="checkbox"/> 権利擁護・成年後見
<input checked="" type="checkbox"/> 行政の税担当部署	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会(小口貸付、権利擁護以外)
<input checked="" type="checkbox"/> 行政の保険・年金担当部署	<input checked="" type="checkbox"/> 法テラス・弁護士(会)・司法書士会
<input type="checkbox"/> その他行政の担当部署	<input type="checkbox"/> 消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談窓口
<input checked="" type="checkbox"/> ハローワーク	<input type="checkbox"/> 警察
<input type="checkbox"/> 職業訓練機関	<input type="checkbox"/> 更生保護施設・自立準備ホーム
<input type="checkbox"/> 就労支援をしている各種の法人・団体(就労訓練事業を含む)	<input type="checkbox"/> 地域生活定着支援センター
<input type="checkbox"/> 医療機関	<input type="checkbox"/> ホームレス支援機関
<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター	<input type="checkbox"/> 一時保護施設
<input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所・その他介護事業所	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員
<input type="checkbox"/> 保健所・保健センター・精神保健福祉センター	<input type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体
<input type="checkbox"/> 障害者就業・生活支援センター	<input type="checkbox"/> 商店街・商工会等経済団体
<input type="checkbox"/> 障害者就労支援事業所	<input type="checkbox"/> 農業者・農業団体
<input type="checkbox"/> その他障害者支援機関・施設	<input type="checkbox"/> 生活協同組合
<input type="checkbox"/> 児童相談所・児童家庭支援センター	<input type="checkbox"/> 一般企業
<input checked="" type="checkbox"/> 学校・教育機関	<input type="checkbox"/> 町内会・自治会、福祉委員、近隣住民
<input type="checkbox"/> 地域若者サポートステーション	<input checked="" type="checkbox"/> その他(学習支援事業)

【第3日目】

【後期】相談【講義と演習⑦】セッション3

(ワークシート3)

このプランを実行するために、どのように動きますか？

例) 準備や段取り、想定しておく事態や展開、取り組みの順番

(事例シート4)

時期	自立相談支援の関わり	本人・家族の変化		
		本人	夫	長女
H25年6月 ～ H26年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士相談へ同行して受任を見届け。夫との関わりのきっかけを得る。 ・本人をHWにつなぐ。 ・本人に同行して、長女の就学援助の手続きを支援する。 ・長女を学習支援につなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HWに登録。定期的に職業相談を受ける。 ・パートを辞め、契約社員で就職する(手取り13万・社保加入)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦同行して弁護士に相談、契約。自己破産をする方向で債務整理がスタート。 ・弁護士相談への同行をきっかけに、自立相談支援センターの訪問を受け入れるようになる。 ・長女の様子に刺激を受け、自分で週末の飲食店でのアルバイトを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援に通うようになって仲間を見つけ、明るさを取り戻す。 ・夜遊びが減り、学校生活が徐々に改善する。
H26年4月 ～ H27年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・夫をHWにつなぐ。 ・以降、定期的に夫と面談。 ・本人とは2～3か月に1回程度、やり取りを継続。 ・長女の状況は、学校の担任と学習支援機関を通じて把握。 ・夫の精神科受診に同行。 ・夫が自立相談支援センターと面談し、「気持ちが焦っていた」とふりかえり。 ・夫を体験就労につなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の祭りで人手不足の話があったことから、夫に促して屋台の手伝いを申し出。家族で焼きそばの屋台を引き受ける。 ・就職して半年。契約更新され、勤続の見通しが立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己破産の申し立てが認められる。 ・HWに登録。定期的に職業相談を受ける。 ・シフト勤務をする妻の代わりに自治会の清掃やパトロール当番をこなすようになる。 ・清掃の仕事に契約社員で就職(手取り20万・社保加入)するが、交替勤務で生活リズムが崩れ、体調不良で休みがちになる。 ・抑うつ症状が見られ、精神科を受診。医師から日勤をすすめられ、離職。定期的な通院と服薬で、ほどなく症状は改善。 ・体験就労を取り入れることとする。 ・体験先の職場(福祉施設)の施設長より、パート就労(厨房・手取り12万)の話がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学先が確定し、目標ができる。 ・長女が高校に合格。 ・今後、ボランティアで学習支援に関わりたいと話す。
H27年4月 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・本人から長女の状況について連絡を受ける。高校と連携したいと提案するが、長女が拒否。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労は順調に経過。 ・「わずかでも蓄えられるようになった」「娘にしっかり向き合いたい」とのこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思ったほどの給料ではない」とはいうものの、「やれそうな仕事なので続けてみる」とのこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校に入学したが、遅刻・欠席が徐々に増えてくる。 ・2学期からまったく登校しなくなる。

【第3日目】

【後期】相談【講義と演習⑦】セッション4

(ワークシート4)

これから終結に向けて、どのように取り組みますか？

例) 支援経過の振り返り、確認できる変化、残された課題、到達点の見定め

平成 27 年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助事業(社会福祉推進事業)

生活困窮者支援事例の活用促進のための調査研究事業

生活困窮者自立支援事業 相談員ハンドブック(Q&A 集)

平成 28 年 3 月

生活困窮者自立支援事業
相談員ハンドブック編集委員会

株式会社日本総合研究所

Q14

どのタイミングで、支援の「終結」と判断すればよいでしょうか

A**基本的な考え方**

「終結」は、生活困窮者自立相談支援制度における相談支援のゴールをいかに設定するかということと深く関連しています。したがって、制度の理念が具体的に反映されることとなります。本制度における「終結」のかたちは多様であり、個々の状況に応じた「終結」のあり方を追求していくことが求められます。また、地域における福祉サービスや多様な担い手に支えられながら地域生活を送ることも重要な「終結」のあり様であることを認識することが大切です。

回答

制度上の「終結」の説明としては、①生活困窮の状態が改善し、設定していた目標を達成の目途が立った場合、②生活困窮の状態から脱却できていないものの、大きな課題がある程度解決し、一旦支援を終了してもよいと判断できる場合、③本人からの連絡が途絶えた場合、の三つが示されています。

しかしながら、実際にはそう簡単に終結の判断がつかないことが多いことも事実です。したがって、機械的に終結に導くのではなく、「終結」と判断するタイミングは、支援のプロセスの中で導き出されるものという認識が大切です。つまり、本人と一緒にプランを作成し、モニタリングをしながらプランの見直しを重ねていくという作業を繰り返し、やがて「終結」に至るという展開が重要な意味を持つということです。このプロセスなくして、「終結」を見極めることはできません。

生活困窮者自立支援制度における「終結」のかたちは多様であり、個々の状況に応じた「終結」のあり方を追求していくことが求められます。それは、本制度においては、就労自立のみならず、日常生活自立や社会的自立といった多様な自立のあり方が強調されることと深く関連しています。多様な自立を模索することによって、「終結」の幅が広がります。一般就労だけがゴールではなく、また生活課題の解決(解消)だけがゴールではないということです。すなわち、様々な生活課題をもちながらも、地域で多様な担い手によって支えられながら生活していくという地域との接点が強調されることとなります。「終結」とは、支援者として今後本人と接点を持たないという意味での終結ではなく、広い意味での見守りを継続していくことを意味する場合もあります。

「終結」のあり方やタイミングが支援のプロセスの中で導き出されるということは、「終結」のあり方に支援の本質が色濃く反映されることを意味しています。つまり、本人がどこで、誰と、どのような暮らしをしたいのかについて、本人自身がその答えを見出せるように支援することが問われるからです。本人の生活であり、また本人の人生である限り、それを支援者が勝手に決めることはできないことなのです。

したがって、本人が決めるプロセスに働きかけることが支援者に求められます。地域で多様な担い手によって支えられながら生活していくという視座のさらに根底には、この支援のあり方が問われることとなります。

ワンポイント・アドバイス

「終結」をめぐるっては、多様なアプローチが可能になります。ここでは2つの取り組みを示しておきます。

○支援を振り返る

支援の成果や課題の達成状況について、相談者とともに支援を振り返る作業ができるとよいでしょう。相談者も支援者も互いの労をねぎらい、これからあるべき方向について再確認する機会になります。

○支援調整会議にはかる

支援調整会議の場で、支援の開始から現在までの経過と成果を確認し、終結後のフォローの必要性と具体的な終結時期を確認するとよいでしょう。その後は支援頻度を徐々に下げつつ、状況をみながら自立した生活を営んでいく体制に入ることを視野に入れます。

参考資料

『自立相談支援事業の手引き』 pp. 49-51 17. 終結

http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12000000-Shakaiengokyoku-Shakai/01_jiritsu.pdf